

## 新教育委員会制度と 教育委員会事務局の組織再編

### 【新教育長について】

地方教育行政の組織および運営に関する法律の一部が改正され、4月1日に施行されたことに伴い、これまでの教育委員長と教育長を一本化した「新教育長」に長瀬哲教育長が就任しました。任期は平成30年3月までで清水岩夫教育委員長は教育委員となります。

この法律改正は、教育の政治的中立性、継続性・安定性を確保しつつ、地方教育行政における責任の明確化、迅速な危機管理体制の構築、首長との連携強化を図るとともに、地方に対する国の関与の見直しを図ることを主な目的としています。

この他に、教育長への教育委員によるチェック機能強化、総合教育会議の設置と大綱の策定があります。

総合教育会議は、市長と5人の教育委員会で構成され、教育の目標や施策の根本的

な方針を示す大綱を策定し、教育の条件整備など重点的に講ずべき施策について協議調整を行います。

また、これまでどおり教育の政治的中立性は確保されます。教育委員会は、これまでと同様、市長との連携強化を図り教育行政を執行行っています。

### 【組織再編について】

文化交流館が今年度中に開館することなどから、教育委員会事務局を「教育部」と「文化振興部」の2部体制とし、「総合学習センター」を廃止します。文化振興部に文化交流館の担当課として「文化交流課」を設けます。スポーツ生涯学習課生涯学習係の業務を市民学習支援課と文化交流課に移管し、教育部に「スポーツ推進室」を設けます。「子ども課」は「子ども育成課」に、総務部人権政策課が教育部に移ります。(以下の図を参照ください)

## 教育委員会事務局組織・業務内容について

4月の組織再編後の組織・業務内容は以下のとおりです。よろしくお願します。

教育部	子ども育成課 (市役所3階)	
	学校教育係	教育委員会、総合教育会議、小中学校教育 など
	子育て支援係	保育園、児童クラブ、子育て支援センター、児童手当、母子・父子福祉 など
	給食センター	給食センターの管理・運営
	スポーツ推進室 (市役所3階)	
	スポーツ推進係	生涯スポーツの振興、体育施設の維持・管理、各種スポーツ大会の開催 など
文化振興部	人権政策課 (市役所3階)	
	人権同和係	同和問題の解消、人権教育の研修・啓発 など
	男女共同参画係	男女共同参画計画の推進、女性問題 など
	市民学習支援課 (飯山市公民館)	
	社会教育係	公民館、女性センター未来、勤労青少年ホームの管理・運営、公民館事業、生涯学習、社会教育委員、青少年健全育成 など
	文化財係	文化財の保護、埋蔵文化センター、ふるさと館の管理・運営 など
	図書館係	図書館の管理・運営 など
文化交流課 (市役所2階)		
	文化振興係	文化交流館の管理・運営、市民会館の管理・運営、文化芸術事業の企画・実施など
	施設係	美術館の管理・運営、五郷研修館 など

## 市内小中学校の校長・ 教頭先生の紹介

- ◆小学校◆
  - 秋津小学校長 山崎 吉治
  - 飯山小学校長 中島 恵子
  - 飯山小学校長 松木 英文
  - 泉台小学校長 江村 裕晴
  - 常盤小学校長 吉越 邦榮
  - 常盤小学校長 宮尾 紀久
  - 戸狩小学校長 中西 裕一
  - 戸狩小学校長 清水 常寿
  - 岡山小学校長 片山 洋一
  - 岡山小学校長 小林 治雄
  - 東小学校長 吉澤 秀
  - 東小学校長 森本 浩正
  - 木島小学校長 青木 修
  - 木島小学校長 宮澤 栄一
  - ◆中学校◆
    - 城南中学校長 三ツ井 修
    - 城南中学校長 伊藤 茂
    - 城北中学校長 小林 芳裕
    - 城北中学校長 小山 正博

## 正受老人物語の発刊にあたり

教育長 長瀬 哲

教育委員会では、飯山の子どもたちが、飯山に生まれ育つことに、誇りが持てるよう

にふるさと教育に努めてきました。ふるさと教育の指導目標の一つに、「故郷の風土や先人の生き方や功績を学ぶこと

を通して、自然と強調して生きる知恵を知り、自らの生き方に加えていく」があります。

## 正受老人物語



飯山市教育委員会

刊の「正受老人を看よ」をベースとして、小学校高学年が読んでも理解ができるように再編集されています。本の構成は次のようになっています。

- 第一部 正受ものがたり
- 第二部 正受老人の教えと正受庵
- 資料一 正受庵の宝物
- 資料二 正受庵関係略年表
- 資料三 参考文献・参考資料

この本は発刊後市内の子どもたちに、配布する予定になっています。飯山市内の子どもたちが、正受老人物語を学ぶことを通して、飯山に生きることを誇りに思い、生きていくうえでの指針となれば

と考えています。また、この本が市民の皆さま方の手許に置かれ正受老人、正受庵を案内する際のガイドブックとしてご利用いただければ幸いです。

## 中国深圳外国語学校訪問



田中妙子教育委員長職務代理を団長に、城南中学校生徒13名と城北中学校生徒5名が、3月22日から27日まで

中国の深圳外国語学校を訪問し、ホームステイをしながら、外国語学校に通い、文化や学習の交流を行いました。

旧第一中学校と学校交流が始まったのが平成13年。それから14年が経過し、深圳への中学生の訪問は今回で6回目となります。昨年6月に飯山を訪れた深圳の生徒の家庭に、ホームステイをする生徒もいて、再会をとても喜んでいました。



外国語学校にて

深圳市は、香港と接する経済特区に指定されている大都市で、外国語学校は平成3年設立された新しい学校です。外国語学校の生徒たちはとても優秀で、飯山の生徒たちはとてもよい刺激になったようです。

深圳から飯山へもこれまでに6回、計175名の生徒が訪れていて、中には日本の企業に就職し活躍されている先輩方もいらっしゃいます。5日間という短い期間でしたが、次回、飯山での再会を約束し、深圳をあとにしました。

## 岡山小学校適正規模等 検討委員会からの答申

3月17日、市役所において、岡山小学校適正規模等検討委員会の吉田正紀委員長から、清水岩夫教育委員長に、答申書が手渡されました。

本検討委員会は、区長など地域代表者、PTAなど保護者、学識経験者などで構成され、これまで岡山小学校の適正規模等を検討してきました。

答申は、児童数の減少により戸狩小学校との統合が望ましいとの内容であり、今後、(仮称)統合準備委員会を立ち上げ、平成28年4月の戸狩小学校との統合に向けて、具体的に準備・検討を進めていく予定です。



吉田委員長から手渡された答申書